

消防団たずね歩き

先輩の知恵を継承する伝統ある神出支団II

西消防団神出支団は、火災・水害などへの出動や年末の夜警などの活動に加え、近い将来、発生が危惧される南海トラフ巨大地震による津波被害が予想される市街地への応援出動も任務付与されており、1支団9分団18班261人の消防団員は、ポンプ等の資機材点検や訓練などを日々実施しています。また、神出ふれあいまちづくり協議会主催の夏祭り、町民運動会、神出ウォークのほか、防災福祉コミュニティ主催の防災訓練などの地域行事では、安全管理や行事支援を実施しています。

平成25年7月号で神出支団を紹介しましたが、その後の活動とトピックスを紹介します。

近年、台風・大雨による家屋への浸水被害が頻発しており、迅速に対応するため事前に土嚢^{どよう}を作成し備蓄しています。

また、神出町の火災の傾向は、草焼きからの延焼等が多く、林野への延焼なども

懸念され、町民への注意喚起を実施するとともに、来年3月には雌岡山での林野火災訓練を計画しています。

神戸市が推進するパートナーシップ活動として、神出町ふれあいまちづくり協議会が主催する「神出町を活性化する自主活動」があります。その中で、穴田神出支団長が部会長を務める安全安心部会では、震災の風化を防ぎ、語り継ごうと、市立神出中学校の生徒が「教訓の伝承のパネル」を作成し、神出連絡所にある消防器具庫の壁に展示し町民の方へメッセージを発信しています。

また、神出町の野菜料理を味わえる人気スポット「かんでかんで」を皇太子殿下が訪れられた際には、神出支団の藤本団員は皇太子殿下にご対面する保育園児の引率、加古団員は、「かんでかんで」で販売しているパンの紹介をおこないました。

(神出支団本部 分団長 西馬昌典)



土嚢を作成備蓄して、水害に備える活動



教訓の伝承のパネルを披露する中学生



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

